

学習指導案形式について

この学習指導案は、各教科等の特性により形式や内容に若干違いはありますが、基本的には以下のようになっています。御覧になる際には、下記のことを参考にしてください。

○○科学習指導案

○年○組 ○○名 指導者 ○ ○ ○ ○

リード文…今回の授業で、検証したいことについて述べてあります。

1 単元(題材) ○○○○

2 目標

※ 本単元(題材)で身に付けさせたいことを指導目標として述べてあります。

3 単元(題材)の評価規準

- ~に関心をもち、~意欲的に調べることを通して、~しようとする。 【関心・意欲・態度】
- ~について考え、適切に判断することができる。 【思考・判断】
- ~を活用するとともに、~で表現することができる。 【技能・表現】
- ~が分かる。 【知識・理解】

※ 単元(目標)を分析して、子どもの姿で述べてあります。

※ 評価規準の観点は4観点を基本としていますが、教科等によって異なります。

4 単元(題材)について

(1) 単元(題材)の価値

※ 単元(題材)設定の意義や教材観について述べてあります。

(2) 子どもの実態と指導

※ 本単元(題材)にかかわる内容について子どもの実態を明らかにし、共感的な子ども理解という立場から、子どもをどのようにとらえているかが述べてあります。また、単元(題材)の価値や実態を踏まえながら、学んだことを活用する手立ての工夫を中心に述べてあります。

5 指導計画(総時数○時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
磨 き 合 う	7 小数の加法は、0.1を単位として考えると、整数と同じように計算できることを理解する。	1 (本時)
	8 小数の減法も、小数の加法と同様に考えられることを理解する。 【知：0.1を単位とし、整数の計算方法をもとに、小数の加法・減法の計算の仕方を考えることができる。】	1
	意欲的に学習に取り組んだり、題材全体の見通しがもてるように ~ できるようにする。	



※ 「過程」の欄には、「次」や「小単元名」を書いている教科等もあります。

※ 「時間」の欄に本時の位置を(本時)と表しています。また、【 】は単位時間の評価の観点を示しています。

※ 吹き出しは、単元の価値や子どもの実態を踏まえながら、学んだことを活用するための教師の手立ての工夫を中心に述べています。

6 本 時 (第○次の○/○)

(1) 目 標

※ 単元(題材)の目標や評価規準をもとに、指導目標を述べてあります。

(2) 評価規準


※ 指導計画の本時に位置付けてある評価規準を述べてあります。これが本時で重点的に評価し指導していく内容になります。 【評価規準の観点】


(3) 指導に当たって

※ 学習の流れに沿って、どのような指導を行っていくかを述べてあります。また、研究内容を具現化するための手立てが述べてあります。


(4) 本時の展開


[] 子どもの意識  教師の手立て ※評価


時	主な学習活動と教師の手立て・評価	
(分)	4 自分で課題を解決する。 ・d0マスで、実際に作ったらできたよ。 ・ノートに液量図をかくと分かりやすかったよ。 ・数直線の上で表して、答えが出たよ。 ・整数部分と小数部分に分けて考えたらできたよ。 ・0.1を単位にして考えたら、整数と同じようにできたよ。	※ 0.1を単位とし、整数の計算方法をもとに、小数の計算の仕方を考えることができる。 ○ 解決することができている子どもには、…。 ○ 解決に戸惑っている子どもには…。 「はかせタイムⅡ」を設定し、教師が「なぜ」「どうしてこうなるの」という発問を投げかけ、説明のポイントをおさえることができるようにする。
磨き合う	0.1が何こ分になるかを考えると、整数と同じように計算することができる。	


◎ 本時の導入には  で、学習問題(めあて)を示してあります。

◎ []には、子どもがもつと考えられる意識を表してあります。

◎ には、教師の指導の手立てを述べてあります。また、研究内容(言語活動の充実)に関する手立てについて示す部分は、「MSゴシック体」の文字で示します。

◎ 学習活動における評価は※で表しています。また、評価の見取り方としては(ノート)(ポストテスト)(発表)(作品)など具体的な方法で示しています。には評価規準を見取った後の指導について述べてあります。

◎ は、授業で使われる資料を表しています。

◎ 本時の終末には  で、学習のまとめを示しています。